

歩留まりが大幅に向上し、工場内環境をクリーン化

MDA “カニフレーク” の製造

カニ身の剥がれ良く、作業性が大幅に向上します



特 徴

- 独自の MDA 解凍技術によって、ドリップを防ぎます。
- カニ足スジ裏側のカニ身が剥がれやすくなり、作業性が大幅に向上します。
- フレーク製品歩留まり3～5%向上します。
- 製品の日持ちが長くなります。
- 作業場の悪臭を極力削減出来、人の皮膚への付着するのを防ぎ、作業性が向上します。

カニフレーク製造 MDA 設備の概要

- | | |
|-------------------|---------------------|
| ①炭素埋設工事 | ④MDA マイナスイオン帯電水製造設備 |
| ②MDA 解凍設備 | ⑤炭素モルタル土間工事 |
| ③MDA 電子シャワー空気浄化装置 | |

※カニフレーク製造現場の悪臭は、土間に MEC-9号炭素混入のモルタルを施設することによって軽減され、臭いが働く人々の皮膚に染み込む事也没有せん。

カニフレーク製造の流れ

- 1 保管** —— -20℃で保管。
- 2 解凍** —— カニフレーク加工の前日に+5℃の冷蔵庫でMDA解凍処理。
- 3 切断** —— シャーベット状に凍ったカニ足を半分に切断。
- 4 身出し** —— 掻き出しスプーンでカニ身を掻きだす。通常は足のスジに沿った裏のカニ身が残りますが、MDA解凍によって、分子の電気的結合力が安定し、 \ominus の電気同士が反発して静電斥力が働き、取り出されるカニ身がカニ足スジ裏より無駄なく剥離するため、歩留まりが大幅に向上します。
- 5 製品** —— 包装・出荷 MDA解凍によって細菌の増殖を抑えます。